

富津市学校給食運営委員会議会議録

1	会議の名称	平成 29 年度第 2 回富津市学校給食運営委員会議
2	開催日時	平成 29 年 11 月 15 日（水） 午前 10 時 00 分～10 時 50 分
3	開催場所	富津市役所本庁 2 階 第 1 委員会室
4	審議等事項	(1) 学校給食施設整備に向けた提言（案）について (2) その他
5	出席者名	(委員) 平野順子、牧田正彦、千倉淳子、田中計、 伊藤直人、玉川智久 (事務局) 岡根教育長、能城教育部長、高梨教育部参 事、河野学校教育課主幹、立石共同調理場長、吉原給 食係長、小藤田主事、川名非常勤職員
6	公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 (理由)
8	傍聴人数	1 人（定員 5 人）
9	所管課	教育部 学校教育課 給食係 電話 0439(80)1343
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

平成 29 年度第 2 回富津市学校給食運営委員会議 会議録

発 言 者	発 言 内 容
吉原給食係長	<p>平成 29 年度第 2 回富津市学校給食運営委員会を開会する。 本日は、松井、加藤、渡邊、岩田委員から欠席の連絡をいただき あり、委員 6 名の出席となるので、富津市学校給食調理場管理運営規 則第 11 条第 2 項の規定により会議が成立する。 また、本会議の内容については、富津市情報公開条例第 23 条の規 定により公開となる。</p>
平野委員長	<p>【委員長挨拶】</p>
岡根教育長	<p>【教育長挨拶】</p>
吉原給食係長	<p>会議次第「4 議題」に入る。 富津市学校給食調理場管理運営規則第 11 条第 1 項の規定により委 員長が議長となるため、会議の進行をお願いする。</p>
平野委員長	<p>規則に基づき議長を務める。 本日の会議録署名人は、玉川智久委員をお願いする。 議題（1）「学校給食施設整備に向けた提言（案）について」事務 局の説明を求める。</p>
吉原給食係長	<p>学校給食施設整備に向けた提言（案）について説明する。 「富津市学校給食施設整備の指針」に基づき、昨年度より第 2 期計 画の検討を開始し、前回会議において提言の素案をお示しした。 本日は、素案に修正を加えた提言書（案）を資料 1、修正内容をお 示ししたものを資料 2 とした。 資料 2「学校給食施設整備に向けた提言書」新旧対照表に沿って説 明する。 素案では全文にわたり語尾を「である調」としていたが、案では基 本的な語尾を「ですます調」に修正した。 提言書（案）1 ページ 4 行目「学校給食の提供を確保する機能、規 模が必要である。」を「学校給食の提供を確保する機能と、調理食数 に応じた規模が必要です。」と修正した。修正理由は、「規模」をでき だけ具体的な表現とした。 同ページ 6 行目「施設設備の老朽化や」を「これらを踏まえ、施設 設備の老朽化や」と修正し、前文を給食施設の整備が必要な根拠とす る旨を明確にした。 同ページ 7 行目「学校給食衛生管理基準を満たしていないなど」を 「学校給食衛生管理基準への対応など」と修正した。衛生管理基準を 満たしていない部分もあるが、それだけではないので、総体的な表現 とした。</p>

同ページ 10 行目に本委員会から要望する旨の文章として、「本委員会の意見を十分に汲み取っていただき、学校給食施設整備の方針に反映して下さりますよう委員一同願っております。」と、また、11 行目に提出年月、12 行目に提出元である本委員会と委員長名を追記した。

提言書（案） 4 ページ 4 行目（1）「概算工事費」を「検討案」と修正した。修正理由は、本文に検討案の内容について記載しているので、整合性を取る見出しとなるよう修正した。

同ページ 8 行目（1）案 1 中、「2,000 食を新築すると想定し試算した。」を「2,000 食規模の施設を新築すると想定し、それぞれ試算した。」と修正した。修正理由は、「規模の施設」と文言を追加し、できるだけ具体的な表現となるようにした。

同ページ 11 行目（1）案 2 中、「既存 2 共同調理場を全面改修する」とした。」を「既存 2 共同調理場を全面改修する。」に、16 行目（1）案 3 中、「最大限適合するように改修する」とした。」を「最大限適合するように改修する。」に、19 行目（1）案 4 中、「使用可能期間の延長を図るために改修する」とした。」を「使用可能期間の延長を図るために改修する。」に修正し、検討案の条件であることを示す表現とした。

同ページ 21 行目（2）中、「上記案 1 及び案 2 は、学校給食衛生管理基準に基づく調理場」を「上記案 1 は新築のため、案 2 は全面改修のため、学校給食衛生管理基準に基づく調理場」に修正し、案 1 と案 2 の条件の違いを明確にした。

同ページ 31 行目（4）中、「案 1 は、既存施設で調理ができるので、建設中でも給食を提供することができる。」を「案 1 は、既存施設が使用できるので、工事中も給食を提供することができる。」に修正し、できるだけ分かりやすくした。

提言書（案） 5 ページ目、素案では、1 行目から 5 行目までを枠で囲ってある結論の次に記載していたが、これを提言の冒頭に移動し、前文とした。

また、素案では「私たち富津市学校給食運営委員会は、安全で安心な給食を子どもたちに食べさせたいということを第一に、すべては子どもたちのためにと考える。今後、建設費や建設場所等の課題も考えられ、富津市の実情にあった調理場とすべきであると思うが、子どもたちの心身の健全な育成を図るため、より安全安心で効果的な学校給食調理場を整備することを要望する。」としていたが、「私たち富津市学校給食運営委員会は、国が求める学校給食衛生管理基準を満たし、より安全で安心な給食を子どもたちに食べさせたいということを第一に考え、検討を重ねてきました。今後、様々な課題も考えられますが、富津市の実情に合わせた効率的な学校給食調理場を整備することを要望し、以下のとおり提言します。」に修正した。修正理由は、学校給食衛生管理基準の重要性を強調するよう追加し、できるだけ簡潔な文章とした。

同ページ 19 行目（2）「児童生徒数は減少傾向にあるが、将来的に人口が増えることを見込み、3,000 食対応の調理場とする。」を「富

	<p>津市の児童生徒数の現状を加味した上で、適正な食数が調理できる規模となるよう整備する。」に修正した。修正理由は、前回会議において、人口が増えることを見込んだ場合に3,000食対応にするというのは理屈に合わない、増えるという見込みであれば、3,000食では足りないのではないかという意見があったので、整合性が取れるように修正した。</p> <p>本日この提言書（案）が了承されたら、教育委員会を通し、市長へ提出したいと考えている。</p>
平野委員長	<p>質問等があればお願いします。</p>
田中委員	<p>1か所になった場合、そこの共同調理場で何かあったら場合、一斉に広がるということがある。新しくなったから安全とは限らない。他市の情報等を入手し、未然に防げるような体制を作ることが安全に繋がる。</p>
吉原給食係長	<p>不測の事態に備えたマニュアル等の整備、調理員の研修等を充実させ安心安全を確保していく。</p>
岡根教育長	<p>危機管理体制について、提言書に記載する必要があるかご協議いただきたい。</p>
玉川委員	<p>新しく施設を建てることに甘んずることなく、普段から危機管理体制については意識すべきことであるので提言書に加える必要はないのではないか。</p>
伊藤委員	<p>施設設備に向けた提言なので必要ないのではないか。安全安心に運営するということは根本である。</p>
千倉委員	<p>危機管理については普段から意識すべきことである。提言書には、現在の不備等がきちんと記載されているので重ねての記載は必要ないと思われる。</p>
田中委員	<p>仮に事例が起きてしまった場合に、前の方がよかったとにならないようにしてほしい。</p> <p>3か所から1か所になったときにスムーズに給食が提供できるよう、事前に体制づくりをしてほしい。</p>
牧田副委員長	<p>施設整備に向けた提言書であり、課題を簡潔に示した方がよいと思うのでこのままでよいのではないか。</p> <p>マニュアル等については、運営面で規定すればよいのではないか。</p>
平野委員長	<p>同意見であるので、委員からは「記載は必要なし」という意見とする。</p>

	<p>その他に何かあるか。</p>
千倉委員	<p>配送時の危険性、調理場から学校までの組織系統、連絡系統等といった今後の対策について運営委員会も一緒に考えていきたい。</p> <p>例えば、児童生徒数の規模が小さくなってしまったときの利用方法といった先を見据えたプランも一緒に考えながら進んでいければよいと思う。</p>
平野委員長	<p>提言書の内容以外でもよい。他に何かあるか。</p>
牧田副委員長	<p>今後の見通し等で分かる範囲で教えて欲しい。</p>
平野委員長	<p>千倉委員の意見はもっともである。今この場では分からないことだと思うが、委員一同考えは同じである。</p> <p>事務局から現段階で補足はあるか。</p>
能城教育部長	<p>具体的に稼働する時期について、今は申し上げられない状況である。今後、財政部局等と調整を図っていく。</p> <p>基本設計等具体的に稼働したときには、運営委員会へ相談させていただきながら進めていきたい。</p>
田中委員	<p>運営委員会ではこの提言書でまとまったところだが、市長を中心とした市としての優先順位はどの位置か。</p>
能城教育部長	<p>市が抱えている公共施設の整備については様々あり、教育委員会内でも学校施設をはじめ複数ある。</p> <p>給食施設は上位の方で考えていきたいと思うが、学校施設の整備も含め、今後検討していかなければならない。</p>
平野委員長	<p>先送りになるということはないと考えてよろしいか。</p>
岡根教育長	<p>大変重要な教育課題の一つとして認識している。</p>
平野委員長	<p>老朽化が進み、衛生的にも不備があり、切実な問題であるのでしっかり見据えていかなければならない。</p> <p>今は、「何年後に」とは分からないと思うが、早めの実現していただかなければならない課題であるのでよろしくお願いしたい。</p>
玉川委員	<p>提言書では、付加価値設備を要した調理場を新築するとしている。</p> <p>子どもたちのためにいい物を建てたいが、予算には限りがあると思う。安全が先送りされては困る。近隣団体の様子などを注視して確実に進めていただきたい。</p>

伊藤委員	食育指導に関しては重要視されていると感じている。学校と調理場との連携をお願いしたい。
平野委員長	現在の調理場を建てるときはウエット方式が一般的だったのか。
高梨教育部参事	昭和 50 年代にドライシステムがあったか否かは定かでないが、当時は水を流せるウエット方式が主流だった。 今は、ドライシステムの方が菌の繁殖を防げることもあり、学校給食衛生管理基準も改正された。
立石共同調理場長	平成 8 年に大阪府堺市で O 1 5 7 による集団食中毒があった。これ以降、文部科学省の基準が改正されてきている。
平野委員長	他に質問はあるか。
千倉委員	建設場所の候補地はあるか。
高梨教育部参事	市有地の中から選ぶことになるが、共同調理場は建築物の用途では工場扱いとなるため、建てられる場所が限られてしまう。 今後、多方面と調整を図る必要がある。
平野委員長	(2) その他について事務局の説明を求める。
吉原給食係長	この提言書(案)について、訂正なしということによろしいか。 < 「はい」 の声あり >
吉原給食係長	では、(案)を取り、富津市学校給食運営委員会から市に向けた提言書としてよろしいか。 < 「はい」 の声あり >
吉原給食係長	事務処理を進めていく。
平野委員長	委員の皆さんからこの場で協議したい事項はあるか。 特に無いようなので、本日の議事は全て終了した。 議長の任を解かせていただく。
吉原給食係長	以上で平成 29 年度第 2 回富津市学校給食運営委員会を閉会する。